

心の窓を開くあいさつ運動

—三つの場の実践で成果を上げています—

長島町立川床小学校

川床小PTAの生活指導は、あいさつ運動を中心に行っていて、二つの特徴を持っています。一つは、学校・家庭・地域が緊密に連携し、がっちりスクラムを組んでいるということです。子どもたちの健全育成には欠かせないことだと考えています。もう一つは、より具体的に、実践的な取組を目指しているということです。子どもたちの目を引く看板等や実践的な場を用意して、子どもたちの元気なあいさつを引き出しています。

本校PTAでは「親子や地域でのふれあい（コミュニケーション）を通して、心豊かな子どもを育てるPTA活動」というテーマのもと、コミュニケーションの柱となるあいさつ運動に取り組んでいます。私たちは、明るく元気なあいさつのできる子どもを育てるために、学校・家庭・地域が一体となって次のような取組を展開しています。

学校でのあいさつを充実させる取組

あいさつを重点的に実践する場として、正門からの坂道を「あいさつ坂」とし、看板を設置しました。「あいさつ坂」では、5年生と6年生を中心に、全学年が交代であいさつ運動を展開しています。また、職員室前の廊下を「あいさつ通り」とし、あいさつを重点的に指導・実践する場として、「あいさつ通り」と「あいさつ通り」に

く、いつも先にして続けよう」と書かれた「あいさつ旗」を設置し、あいさつの実践を呼びかけています。このような取組によって、子どもたちのあいさつへの意欲が高まり、友達や先生方に元気よくあいさつする姿が、たくさん見られるようになってきました。また、親子のふれあいやコミュニケーションを深めるために、全学級で親子レクリエーションも実施しています。このような取組によって、親子の信頼関係が一層増し、家庭でのあいさつも充実してきています。アンケート調査の結果、



学校とPTAが協力して設置した看板「あいさつ坂」

果、全体の半分以上の家庭で、「子どもたちのあいさつが元気よくなった」と回答しています。地域でのあいさつを充実させる取組

文化・生活指導部では、毎学期、あいさつ運動を兼ねた交通立哨を行っています。参加した保護者からは、「子どもたちが、しっかりと立ち止まり、大きな声であいさつできているようになってきた」という感想が聞かれるようになってきました。また、稲作学習や棒踊り（郷土芸能）などの「ふるさと教育」でもあいさつ運動に取り組み、指導者として来てくださる地域の方へのあいさつをはじめ、子ども同士のあいさつについても指導しています。地域の方からは、「真剣にあいさつができていて感動した」というお褒めの言葉をたくさんいただくようになってきています。川床小PTAでは、これからの育成を目指して、あいさつ運動の充実を図

つていきたいと考えています。



文化・生活指導部によるあいさつ指導

(教頭 岩元 博美)

学校紹介

今年度創立139年を迎える川床小学校は、全校児童73人、6学級の学校です。長島本島の東南部に位置し、長島の自然や人材等を生かした「ふるさと教育」に力を入れており、運動会等で成果を発表しています。教育熱心で温かい地域と家庭・学校が一体となって、子どもたちの健全育成に取り組んでいます。